



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 SBSホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2384 URL <http://www.sbs-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鎌田 正彦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 遠藤 隆 (TEL) 03 (3829) 2222
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	202,244	56.6	13,969	123.8	13,936	122.0	7,809	89.0
2020年12月期第2四半期	129,139	1.7	6,243	12.5	6,277	14.7	4,131	23.1

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 9,417百万円(130.4%) 2020年12月期第2四半期 4,087百万円(11.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	196.61	—
2020年12月期第2四半期	104.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	261,733	75,865	21.9
2020年12月期	254,550	68,146	19.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 57,345百万円 2020年12月期 50,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	54.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	55.5	20,000	82.5	19,500	79.2	10,700	56.7	269.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年12月期 2 Q	39,718,200株	2020年12月期	39,718,200株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	653株	2020年12月期	575株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年12月期 2 Q	39,717,615株	2020年12月期 2 Q	39,717,625株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は、2021年8月6日(金)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)は、前年来の新型コロナウイルス感染症拡大が終息の気配を見せず、東京都をはじめとした地域で緊急事態宣言が繰り返し発出された影響もあり、経済の回復に遅れが生じる結果となりました。他方、生活必需品やネット通販などEC関連の市場は拡大が続いており、当社グループはお客様、取引先ならびに従業員の感染防止と安全確保を最優先に取り組みながら、こうした需要に応えるべく積極的な対応を図ってまいりました。

また、前年11月に株式の66.6%を取得したS B S東芝ロジスティクス㈱は本年1月から連結業績への寄与を始め、さらに本年1月に東洋運輸倉庫㈱、4月には旭新運輸開発㈱と㈱日ノ丸急送が当社グループに加わったこともあり、当社グループのサービスラインナップはさらに拡充され、物流サプライチェーンを強固にサポートする体制を整えております。

当第2四半期連結累計期間の業績については、グループの物流事業が堅調であることに加えて、上記会社の新規連結や、物流不動産の流動化で前期を上回る収益を計上したこと等が奏功し、売上高は前年同四半期より731億4百万円増(+56.6%)の2,022億44百万円、営業利益は同77億26百万円増(+123.8%)の139億69百万円、経常利益は同76億58百万円増(+122.0%)の139億36百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同36億77百万円増(+89.0%)の78億9百万円となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

(物流事業)

物流事業では、既存顧客との取引拡大に加え、高い物流機能を求める新規顧客の獲得に注力しました。上記のとおりS B S東芝ロジスティクス㈱の新規連結に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大きく落ち込んだ企業間物流が海外を含めて回復傾向にあること、さらに即日配送事業におけるEC需要の取り込みや、生活物流・ネットスーパー等の分野における需要拡大とも相まって、物流事業は全体として堅調に推移しました。物流事業の売上高は前年同四半期より650億34百万円増(+55.3%)の1,825億38百万円、営業利益は同60億20百万円増(+279.6%)の81億73百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、開発事業と賃貸事業で構成されております。開発事業では、グループの3PL、4PL事業を推進するために、顧客の物流ニーズに合った大型倉庫を土地の取得から建設まで一貫して行います。賃貸事業では、グループで保有する倉庫、オフィスビル、レジデンス等から賃貸収入を得ています。当社は、将来の投資に向け物流不動産を流動化し資金を回収しており、流動化に伴い計上する収益は不動産事業に含めております。

物流不動産の流動化として、当第2四半期において、南港物流センター(大阪市)の信託受益権の譲渡を実施しました。これに伴う収益が前期の物流不動産流動化における実績を上回った結果、不動産事業の売上高は前年同四半期より76億69百万円増(+92.9%)の159億24百万円、営業利益は同17億51百万円増(+44.6%)の56億80百万円となりました。

(その他事業)

その他事業の主なものは、人材派遣事業、マーケティング事業、太陽光発電事業及び環境事業です。その他事業の売上高は前年同四半期より4億円増(+11.8%)の37億80百万円、営業利益は同70百万円増(+46.8%)の2億22百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,617億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億82百万円増加しました。これは主に、東洋運輸倉庫㈱等の新規連結に伴う固定資産の増加等によるものです。

負債は1,858億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億36百万円減少しました。これは主に、短期借入金の減少等によるものです。

純資産は758億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億18百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、並びに非支配株主持分の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界各地で新型コロナウイルス感染症の拡大が終息の気配を見せず、今後も経済活動の抑制が続くことで当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。物流事業においては営業活動をさらに強化し、需要が旺盛な生活必需品やネット通販の取り込みにも引き続き積極的に対応してまいります。

さらに、SBS東芝ロジスティクス㈱、東洋運輸倉庫㈱等、新規連結した会社の収益が新たに業績寄与することも織り込んだうえで、2021年12月期の見通しに関しては、サマリー情報の「2021年12月期の連結業績予想」のとおり従来予想から変更いたしました。また、あわせて配当予想についても修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2021年8月6日）発表の「2021年12月期通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,543	27,842
受取手形及び売掛金	55,189	54,040
たな卸資産	13,236	6,315
その他	8,596	10,436
貸倒引当金	△35	△41
流動資産合計	104,530	98,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	62,253	73,111
減価償却累計額及び減損損失累計額	△40,564	△48,231
建物及び構築物(純額)	21,689	24,879
機械装置及び運搬具	31,632	32,501
減価償却累計額及び減損損失累計額	△18,556	△19,517
機械装置及び運搬具(純額)	13,076	12,983
土地	49,424	57,478
リース資産	7,234	8,482
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,519	△5,054
リース資産(純額)	2,715	3,428
建設仮勘定	7,231	6,027
その他	8,268	8,324
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,225	△6,367
その他(純額)	2,042	1,957
有形固定資産合計	96,179	106,756
無形固定資産		
のれん	8,895	10,025
顧客関連資産	21,108	20,741
その他	3,491	4,049
無形固定資産合計	33,495	34,815
投資その他の資産		
投資その他の資産	20,421	21,633
貸倒引当金	△76	△66
投資その他の資産合計	20,345	21,567
固定資産合計	150,020	163,139
資産合計	254,550	261,733

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,828	28,617
電子記録債務	4,574	4,705
短期借入金	42,790	22,931
1年内返済予定の長期借入金	9,765	13,636
未払法人税等	2,498	3,127
賞与引当金	2,403	2,824
その他	18,241	20,849
流動負債合計	111,102	96,692
固定負債		
長期借入金	45,047	56,198
退職給付に係る負債	11,579	11,409
その他	18,674	21,567
固定負債合計	75,301	89,174
負債合計	186,404	185,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,920	3,920
資本剰余金	2,651	2,651
利益剰余金	43,722	50,141
自己株式	△0	△0
株主資本合計	50,293	56,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	455	553
為替換算調整勘定	△89	105
退職給付に係る調整累計額	95	△26
その他の包括利益累計額合計	462	632
非支配株主持分	17,390	18,519
純資産合計	68,146	75,865
負債純資産合計	254,550	261,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	129,139	202,244
売上原価	114,965	176,292
売上総利益	14,174	25,951
販売費及び一般管理費	7,930	11,981
営業利益	6,243	13,969
営業外収益		
受取利息	12	10
受取配当金	51	39
持分法による投資利益	290	405
その他	110	150
営業外収益合計	465	606
営業外費用		
支払利息	334	460
その他	96	179
営業外費用合計	431	640
経常利益	6,277	13,936
特別利益		
固定資産売却益	38	75
投資有価証券売却益	364	—
特別利益合計	402	75
特別損失		
固定資産除却損	7	322
その他	19	53
特別損失合計	27	376
税金等調整前四半期純利益	6,653	13,634
法人税、住民税及び事業税	2,451	4,433
法人税等調整額	△65	14
法人税等合計	2,385	4,447
四半期純利益	4,267	9,186
非支配株主に帰属する四半期純利益	135	1,377
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,131	7,809

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	4,267	9,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△311	47
為替換算調整勘定	71	289
退職給付に係る調整額	60	△171
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	64
その他の包括利益合計	△180	230
四半期包括利益	4,087	9,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,904	7,979
非支配株主に係る四半期包括利益	183	1,437

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	117,504	8,255	3,380	129,139	—	129,139
セグメント間の 内部売上高又は振替高	210	48	182	441	△441	—
計	117,714	8,303	3,563	129,581	△441	129,139
セグメント利益	2,153	3,929	151	6,234	9	6,243

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△16百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	182,538	15,924	3,780	202,244	—	202,244
セグメント間の 内部売上高又は振替高	241	48	238	527	△527	—
計	182,779	15,972	4,019	202,772	△527	202,244
セグメント利益	8,173	5,680	222	14,077	△107	13,969

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去31百万円及び各報告セグメントに配分していない当社に係る損益△138百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。